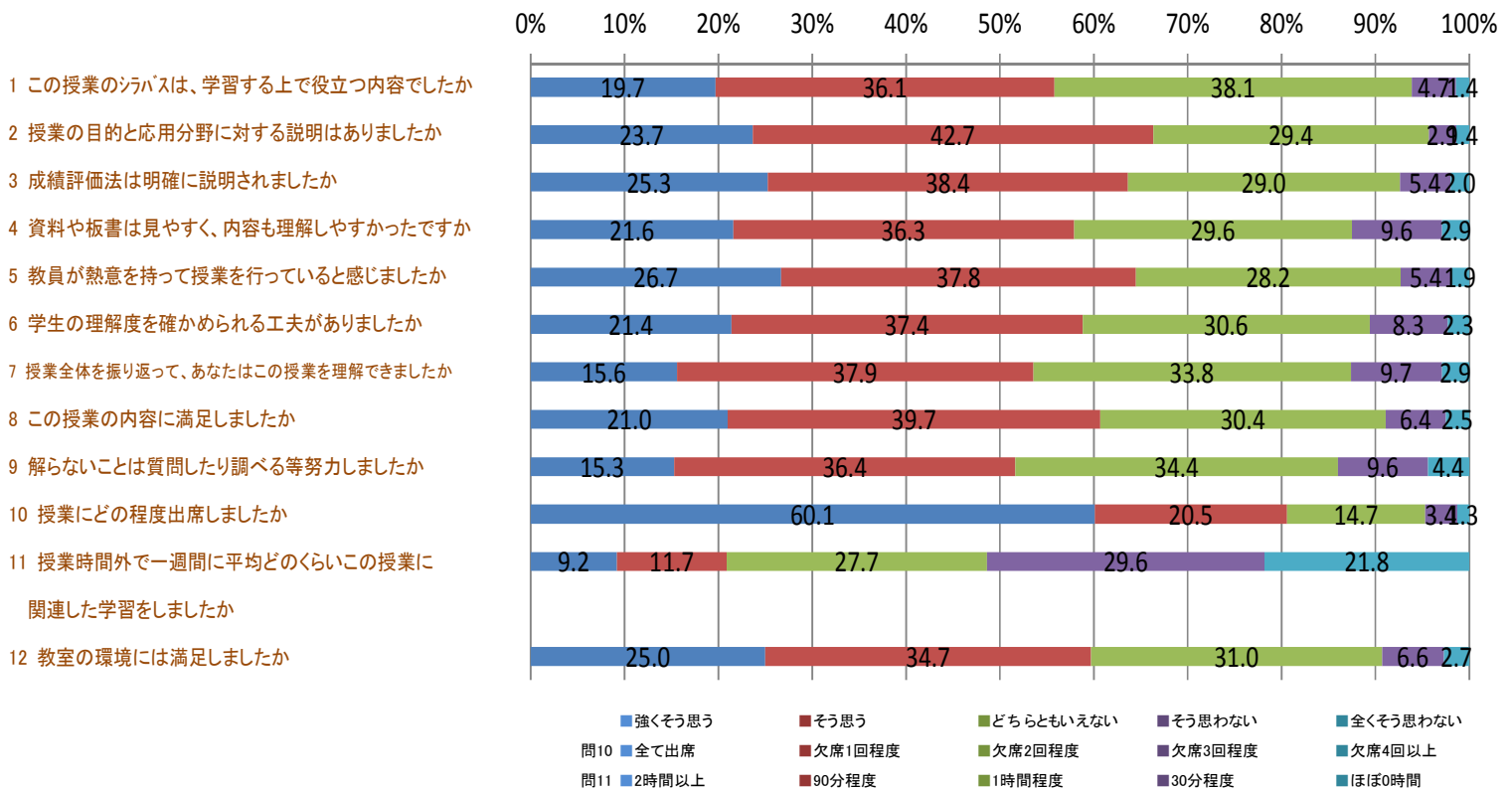


2016 年度前期 授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 13

《学生の皆さんへ》システムデザイン学部・研究科では2016年7月1日～8月5日の期間、学部と研究科で前期に開講された科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。ご協力大変ありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部(対象授業科目数 83 のうち 65 科目からの回答)



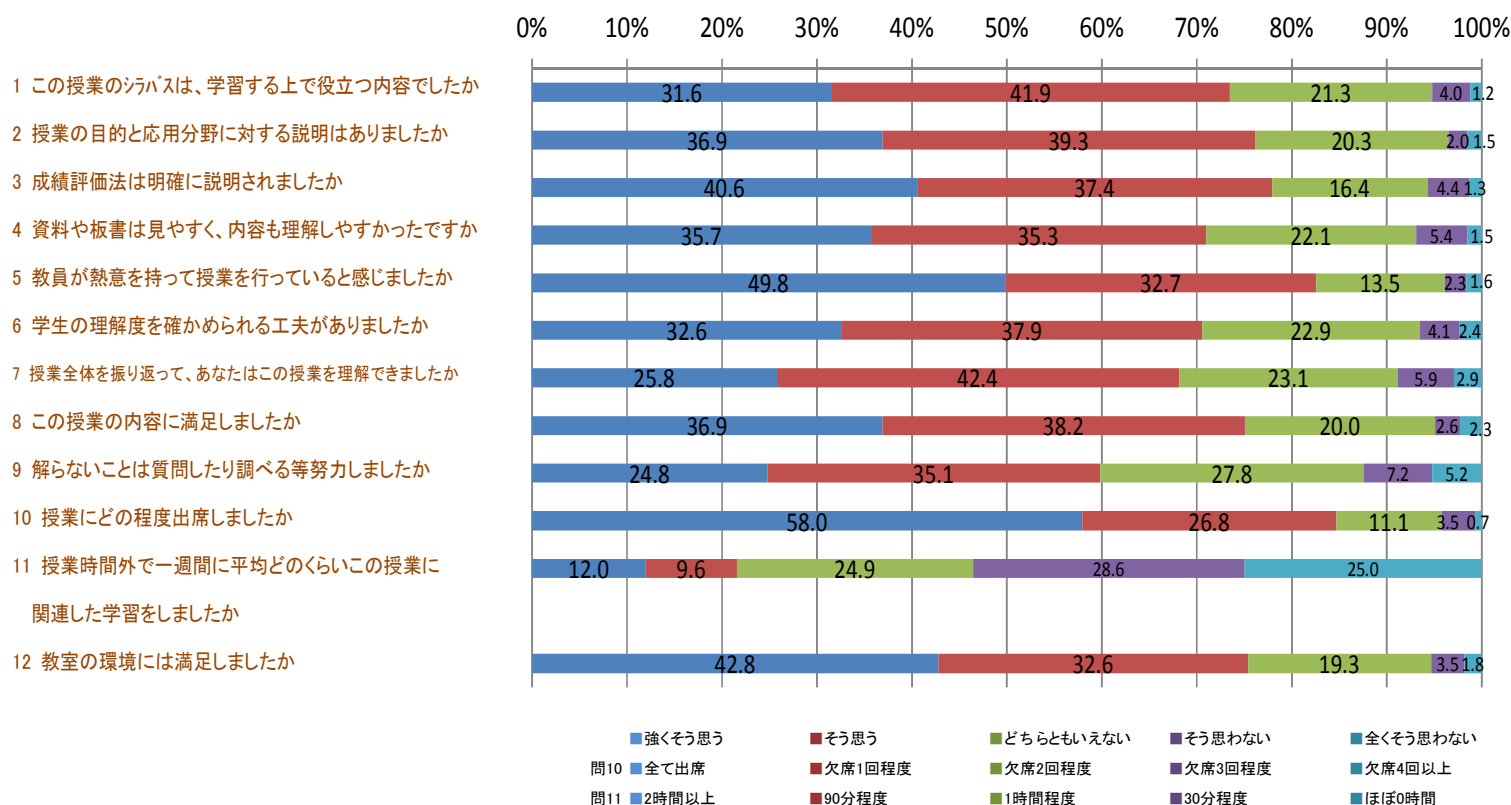
▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・章ごとに課される演習問題で自分の理解度を計ることができてよかった。
- ・例題と解答を配布するなどしてほしかった。教科書だけだといつどのように使うのかわからなかった。
- ・プリントアウトをしたり、インターネットを使うことの多い授業だったのでプリンターがあったり、ネットのちゃんとつながる環境が欲しかった。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・教材は全て電子的に事前配付し、毎回小テストを解かせて理解度を確認している。
- ・ニュース映像、動画による研修教材などを使用し、視覚による理解を高めるようにした。
- ・他の講義科目と共通の問題を設定し、座学・シミュレーション・実験の面から、理解できるようにした。
- ・学生同士で議論できるようにしたい。

システムデザイン研究科(対象授業科目数 45 のうち 35 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・個人ではあまり情報が入らない内容や、先生の経験談などが盛り込まれていて、実践的なことが知れて良かった。
- ・毎回課題があると、ただの座学にならないので良かった。
- ・スライド資料を後に配布していただくと復習も出来て良いと思った。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・毎回授業の最後に理解を深めるための演習問題を出題し次回迄の宿題としている。次回の冒頭に回答例を示し復習の代わりにしている。演習問題の内容は毎年変えている。
- ・今年の学生は真面目だが、もう少し積極性があると嬉しい。
- ・学生にとって「初めての分野」、「今迄勉強したことのない分野」なので質問や建設的意見が仲々出てこない状況で、授業が一方方向的になり易い。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2016 年度前期アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。各設問での回答に加えて、自由記述欄からは数字で表せない実態を得ることができています。これらのアンケート結果は回答者個人の特定ができないような形に処理されたうえで、教員にフィードバックされ、教育状況の把握と授業改善の参考に利用されています。また、2号館講義室の什器の老朽化に伴い、机と椅子の買い替えを進めています。今後とも、授業及び教室環境の改善のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2016 年 12 月 6 日